



本年の7月、8月は、梅雨前線や台風の影響により、九州北部地方、奄美地方などでは記録的な大雨となり、西日本・東日本の広い範囲では大雨となりました。また、最近では、北朝鮮のミサイル攻撃やミサイル発射計画により、アメリカと北朝鮮の緊張状態が高まっています。生物兵器や化学兵器などを積載したミサイルを考えますと、自然災害だけではなく、避難する手段や方法を日頃から考えておく必要があります。

今回のレターでは、昨年行ったセミナーおよびシンポジウムのアンケート結果をご報告いたします。

## 第1回JUMP企画セミナー

### "今後の身元確認を考える" 「震災から5年 一身元確認作業に従事した歯科医師の声を未来へ」

#### 1. テーマ【対象者：歯学部生・歯科医師】

東日本大震災では、延べ3,000人の歯科医師が身元確認作業を行い、「歯科所見を用いた個人識別」は社会から大きく評価されました。しかし、同時に日本の貧弱な身元確認体制も浮き彫りになったことをご存知でしょうか。

「歯科所見を用いた個人識別ってどんなことをやるの？」

「また震災が起きてしまったら歯医者はどうしたらいいの？」

「歯科所見による身元確認の問題点って何？」

身元確認作業に従事した方もそうでない方も、今後の身元確認について一緒に考えてみませんか。

#### 2. 開催概要

日 時：2016年5月13日（金） 17:30～19:30  
会 場：東京医科歯科大学 歯科棟南4F 特別講堂  
来場者数：約40名

#### 3. 案内

歯学部生・歯科医師向け JUMP企画セミナー  
今後の身元確認を考える

2016 5/13 (金) 17:30～

震災から5年  
身元確認作業に従事した歯科医師の声を未来へ

コーディネーター 東京医科歯科大学 法医学分野 教授 櫻田宏一

「歯科医師としてできること」 藤村聖子 (鹿児島大学歯学部法医学)

「臨床歯科医の私が…」 佐藤真奈美 (宮城県歯科医師会)

「過去の災害をふり返って」 沢田彰吾 (千葉大学医学部法医学)

「JUMP ～手探りの第一歩～」 高橋久子 (千葉大学医学部法医学)

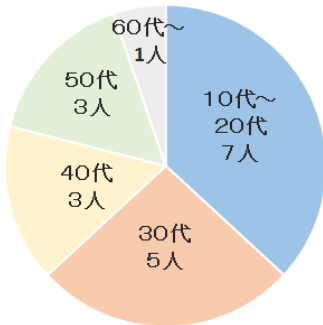
開 演 17:30～19:30 (17:00受付開始)  
場 所 東京医科歯科大学 歯科棟南4F 特別講堂  
参加費 無料  
主 催 JUMP  
Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team

【お問い合わせ】  
JUMP事務局  
千葉大学大学院医学研究科法医学教員  
TEL: 043-226-2078 FAX: 043-226-2079  
担当: 青藤・坂間

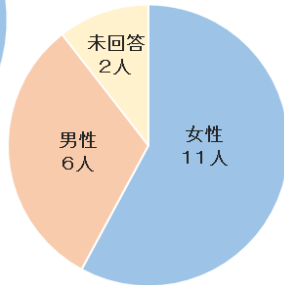
## 4. アンケート結果

### 1. アンケート回答者19名

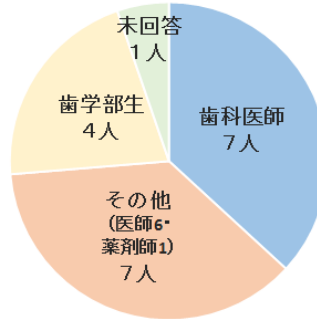
回答者年代別



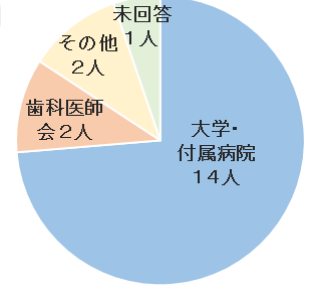
回答者性別



回答者資格

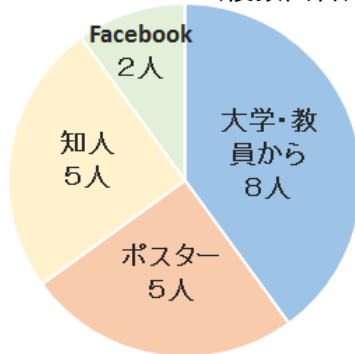


回答者所属

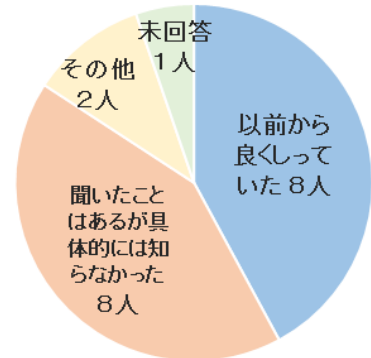


### 2. 本セミナーの告知について

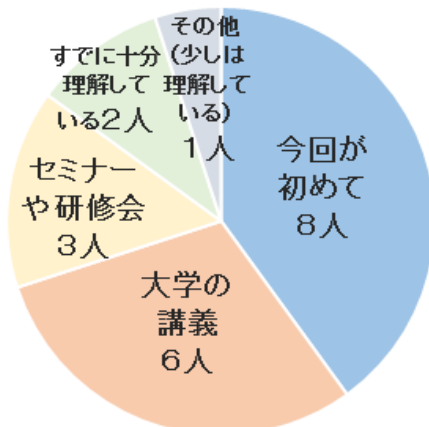
セミナーをどこで知りましたか  
(複数回答)



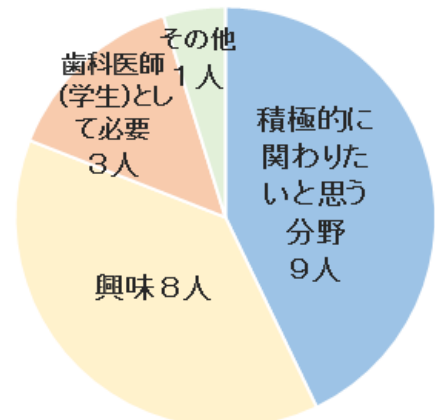
震災における歯科医師の役割



歯科医師が行う身元確認について  
学んだ経験(複数回答)

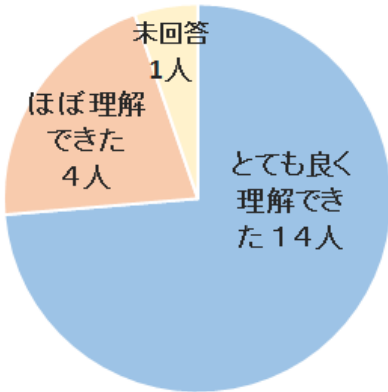


セミナーに参加した理由  
(複数回答)

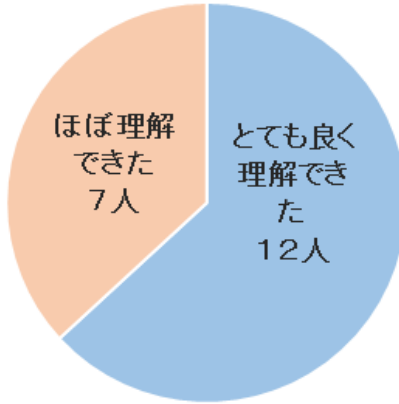


### 3. 本セミナーを受講して

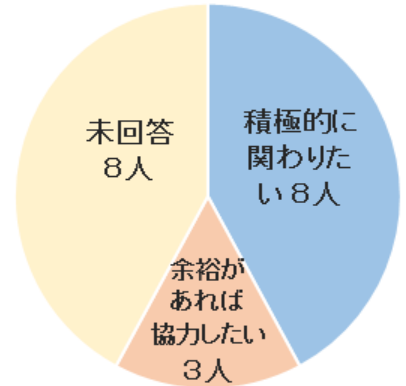
日本の震災における  
歯科医師の活動を  
ご理解いただけたか



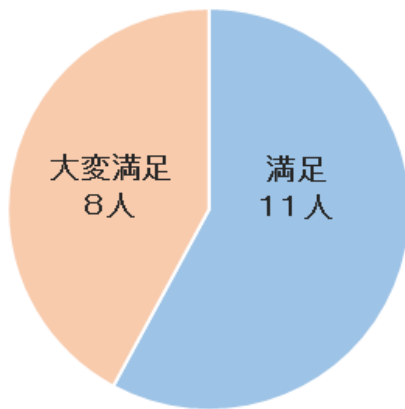
過去の震災を通して  
見えてきた  
反省点や課題について  
ご理解いただけたか



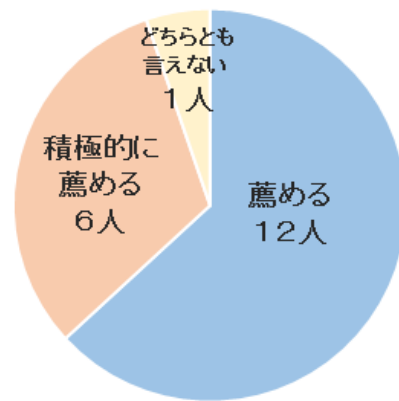
今後、歯科医師として  
災害時の身元確認活動  
について(歯科医師・  
歯学部学生のみ対象)



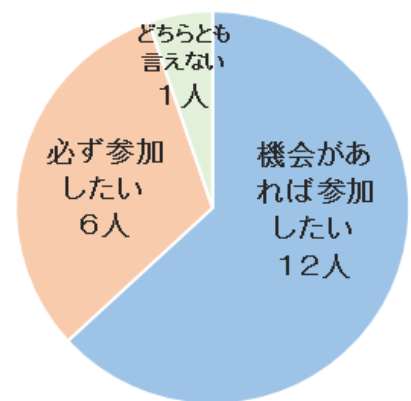
本日の講演内容は？



このセミナーを同業者や  
友人に薦めますか？

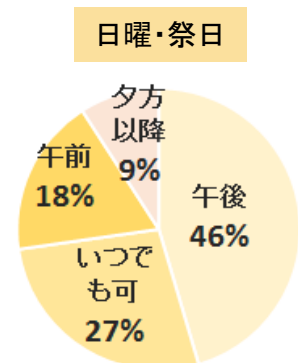
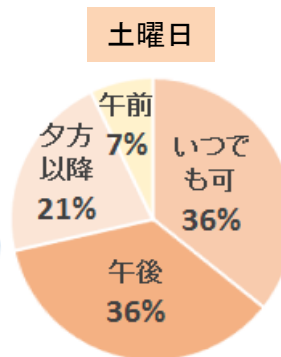
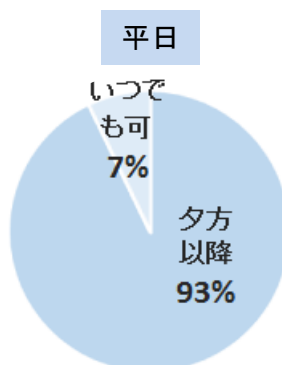
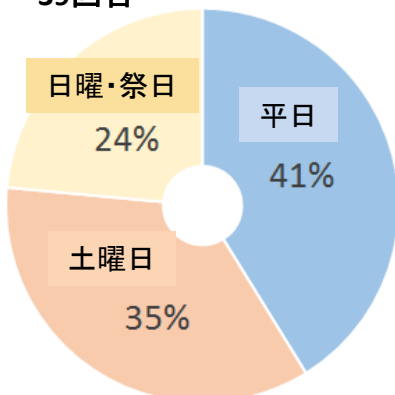


今後「災害」「身元確認」を  
テーマにしたセミナーや研修会が  
あれば参加したいか？(複数回答)



### 4. セミナーに参加しやすい曜日・時間帯について(複数回答)

39回答



## 5. 今後取り上げてほしいテーマなど

- ・他分野(医科・警察・法律など)との連携
- ・具体的な検案(確認)方法など実技を含めて訓練して頂きたい。
- ・デンタルチャート等、具体的な知識についてのセミナー
- ・実際の診査の流れ等
- ・災害時現場にてどの様にレントゲン撮影が行われているか。
- ・大学では平常時、災害にそなえどの様な活動・研究をされているか。
- ・災害時の避難所における歯科医療の需要などについて興味があります。
- ・歯科所見での身元確認に他職種(医師等)としてどのように関わられるのか。

## 6. 感想など

- ・歯牙鑑定のシステムが不十分だという話は印象的でした。とても時間と労力をかけて改善していかなければならないものだと感じて呆然としました。まずは将来歯科医師として歯牙鑑定が十分に行えるよう学業に励みたいと改めて思いました。
- ・もっと色々な職種で検討していくことも多いと感じました。頑張ってください。
- ・授業では聞くことの出来ない現場に実際行かれた先生のお話を伺うことが出来、大変勉強になった。
- ・日本の災害における身元確認の失敗要因など、とても興味深かったです。
- ・貴重な話を拝聴することができました。このような機会があり、良かったと思います。
- ・最近、歯科医師会に入らない歯科医師も多くなっています。やはり地域に密着した身元確認では歯科医師会の存在はあった方が良くと思います。歯科医師会に入りたい、入ってメリットがあるような魅力的な組織でなければならないと思いました。(もしくは、歯科医師が必ず入らなければいけない組織を確立する or 義務にする等)
- ・法医学の立場からどのように関わられるのか、自分なりに考えてみたいと思った。貴重なセミナーありがとうございました。
- ・数少ない法歯学者の苦労がわかりました。
- ・臨床歯科医師を災害時うまくリクルートできれば歯科の個人識別がうまくいくと思います。
- ・臨床歯科医師の個人識別能力の向上

## 第2回JUMP企画シンポジウム



第58回 *The 58th*  
Annual Meeting of Japanese Association for Oral Biology  
歯科基礎医学会学術大会

### "災害大国日本における身元確認を考える" — 歯科医師としての責務とは —

#### 1. テーマ【対象者: 歯科基礎医学会会員の歯科医師】

日本は死因究明先進国に比べて、「有事・平時ともに身元不明遺体が多い」という現状を抱えています。東日本大震災から5年が経過した今、我々は「歯科所見を用いた身元確認の方法」についての再検証を行いました。1985年の日航機墜落事故、1995年の阪神・淡路大震災そして東日本大震災の身元確認作業を比較し、我々歯科医師の抱える課題点の異なる点や共通点を追求します。また、今後予想される大震災や事故に対して、今後の身元確認方法について議論し、歯科医師としての責務について考えたいと思います。

#### 2. 開催概要

日 時: 2016年8月24日(金) 14:20~16:00  
会 場: 札幌コンベンションセンター  
来場者数: 約50名

#### 3. プログラム

##### サテライトシンポジウム11

##### 「災害大国日本における身元確認を考える— 歯科医師としての責務とは—」

日 時: 8月24日(水) 14:20~16:00

会 場: F会場

オーガナイザー: 齊藤 久子(千葉大 院医 法医)

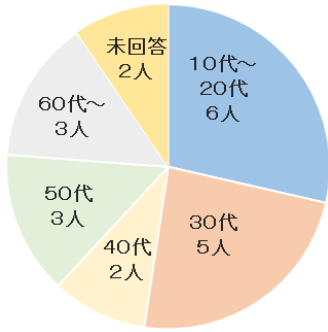
佐藤 真奈美(宮城県歯科医師会)

- SS11-1「東日本大震災における身元確認作業を経験して」  
大林 由美子(香川大 医 歯科口腔外科)
- SS11-2「過去の災害において繰り返されてきた歯科身元確認における問題点」  
咲間 彩香(千葉大 院医 法医)
- SS11-3「全ての歯科医師が歯科法医学者となる時」  
勝村 聖子(鶴大 歯 法医)
- SS11-4「大規模災害時における身元確認: 歯科界の対応」  
佐々木 啓一(東北大 院歯 口腔システム補綴)

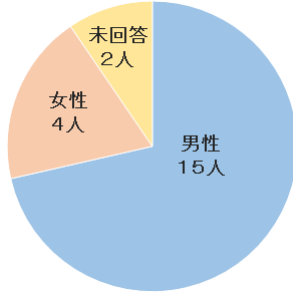
# 4. アンケート結果

## 1. アンケート回答者21名

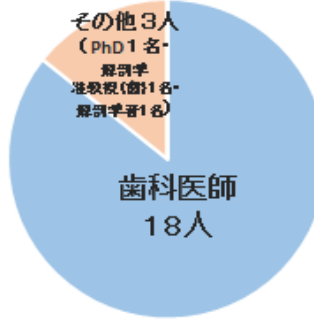
回答者年代別



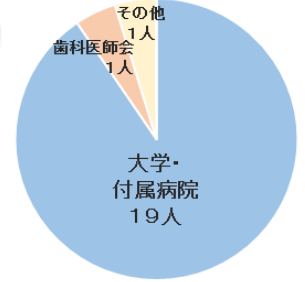
回答者性別



回答者資格

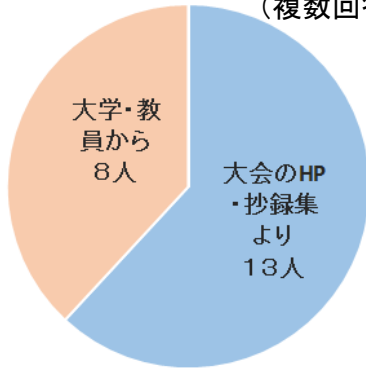


回答者所属

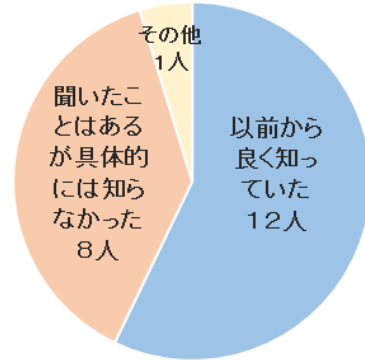


## 2. 本シンポジウムの告知について

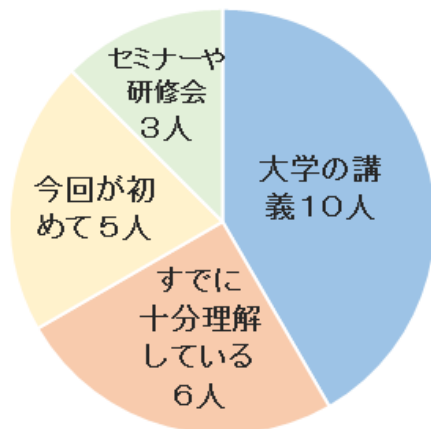
シンポジウムをどこで知りましたか  
(複数回答)



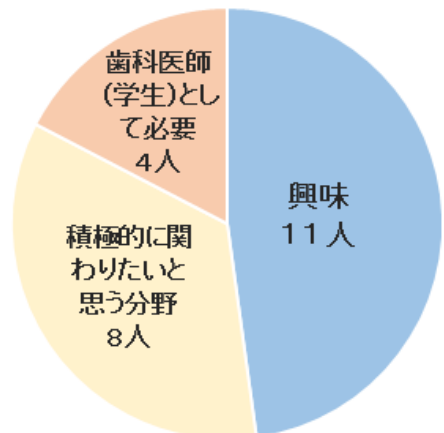
震災における歯科医師の役割



歯科医師が行う身元確認について  
学んだ経験(複数回答)

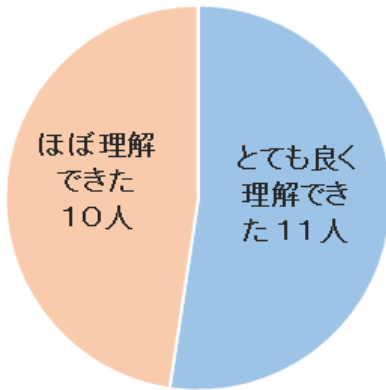


シンポジウムに参加した理由  
(複数回答)

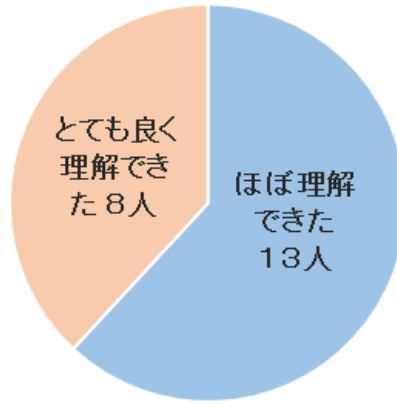


### 3. 本シンポジウムを受講して

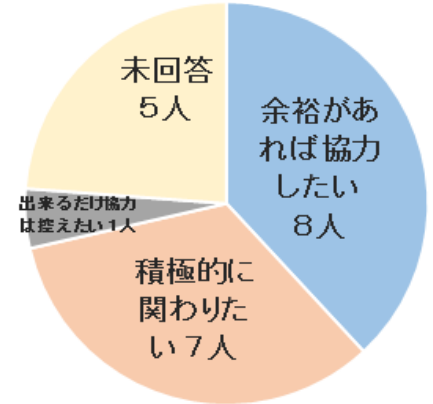
日本の震災における  
歯科医師の活動を  
ご理解いただけたか



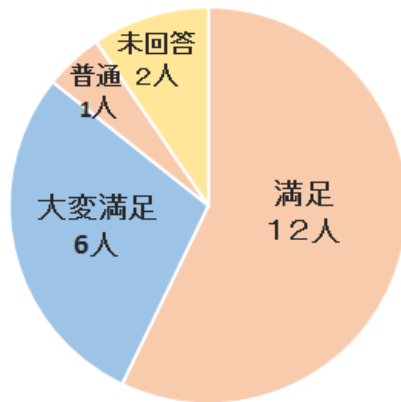
過去の震災を通して  
見えてきた  
反省点や課題について  
ご理解いただけたか



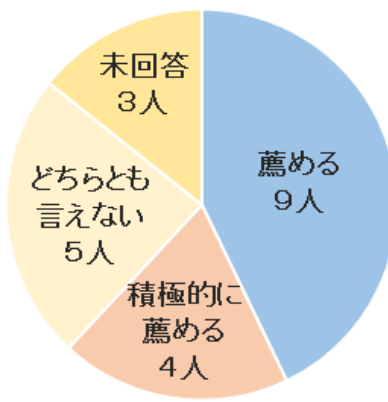
今後、歯科医師として  
災害時の身元確認活動  
について(歯科医師・  
歯学部学生のみ対象)



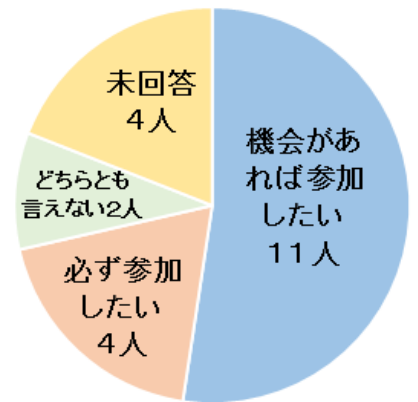
本日の講演内容は？



JUMPの活動を同業者や  
友人に薦めますか？

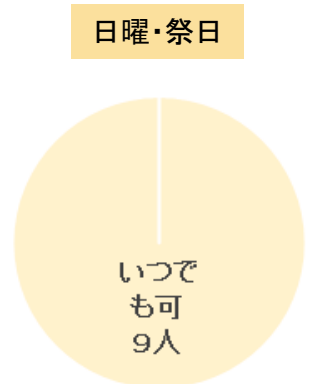
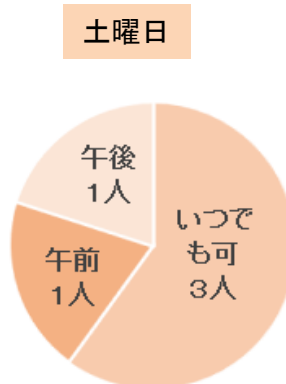
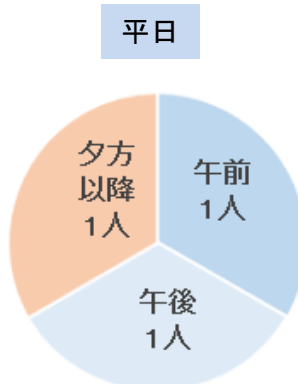
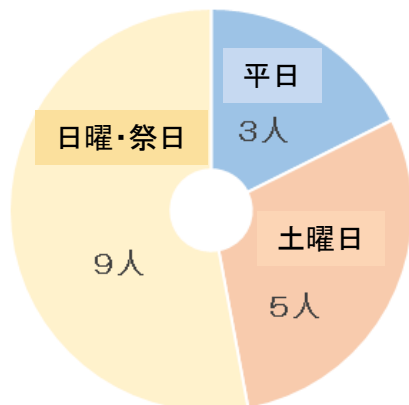


今後「災害」「身元確認」を  
テーマにしたセミナーや研修会が  
あれば参加したいか？(複数回答)



### 4. セミナーに参加しやすい曜日・時間帯について(複数回答)

17回答



## 5. 感想など

- ・今回参加させて頂き大変勉強になりました。現場での作業の経験がないため、今後、身元確認作業のセミナーをぜひ希望したいです。
- ・興味深い内容でした。
- ・歯科情報の標準化、共有化の必要性を再認識した。
- ・またこの様なお話しが聞きたいです。
- ・東日本大震災での現場の状況や身元確認作業の実態などを知れるきっかけとなった。今後、予想される大規模災害に対して自分がもしも現場に向かうようなことになった場合、少しでも力になれるよう、今から勉強したり、積極的にセミナー等に参加したいと思った。また、多くの人に歯科医師が大規模災害時に非常に有効であることを広めたいと思った。

## 2017年JUMP活動報告・予定

- 2月13日 第22回日本集団災害医学会(名古屋)にて、メンバー咲間彩香氏  
ポスター発表「過去の災害における歯科身元確認の問題点」
- 9月3日 香川県歯科医師会にて  
多職種連携によるDVI(Disaster Victim Identification)訓練の実施
- 9月～10月 東日本大震災における被災地3県における身元確認法の調査
- 10月29日～11月1日 メンバー熊谷章子氏及び岡広子氏の韓国NFS視察
- 10月22日 鶴見大学歯学部にてシンポジウム開催  
「次の大規模災害にどう立ち向かうか～様々な職種からの提言～(仮)」  
シンポジスト: 医師・歯科医師・行政・警察等、関連職種(予定)

昨年行ったJUMP企画におけるアンケート調査の中には、「身元確認作業のセミナーを希望します」というご意見がございましたので、ご要望にお応えしたいと思っております。本年10月に開催予定のシンポジウムの午前中に、鶴見大学歯学部にて、メンバー勝村聖子氏およびサポーター佐藤慶太氏のご協力のもと、希望者のサポーターの先生方に個人識別実習を行う予定でおります。詳細が決定いたしましたらご連絡いたしますので、この機会にぜひご参加ください。

メンバー一同、セミナーおよびシンポジウム等でサポーターの先生方にお会いできますことを楽しみにしております。皆様、どうぞ、体調管理にはお気をつけてお過ごしください。

個人サポーター年会費(1口5,000円)の件でございますが、まだお振込みいただいていない先生方にはどうぞお忘れずにお問い合わせ申し上げます。粗品もご用意しております！



以下は、レター1号での答えになります！

## ところで、皆様、 防災対策は大丈夫？

- ✓ 地震の揺れを感じたら、まず何をする？
- ✓ 地震が起きたとき、火を使っていたらどうする？
- ✓ 地震で部屋に閉じ込められたらどうする？
- ✓ 地震が収まってすぐにはいけないことって何？
- ✓ 避難する前に必ずすべきことは？
- ✓ 避難をするときに注意すべきことは？
- ✓ 火事を発見したら、どの方向に、どのようにして逃げる？

地震  
発生

瞬間

最優先で自分自身と家族の命を守る！

すぐに「物が落ちてこない・倒れてこない・移動しない」場所へ移動！

### 直後の行動

- ・揺れが収まったら、ケガをしないように分厚いスリッパなどを履いて足を保護しながら、ドアを開けて避難経路を確保
- ・火元を確認する
- ・出口を確保する
- ・屋外の場合、ガラスや堀から離れる

### 部屋に閉じ込められたら？

硬い物やドアで壁を叩いたり、大きな音を出して、自分が屋内にいることを知らせる  
×大声を出し続けると体力を消耗し、命の危険があるのでNG!

### 避難する前に！

- ・出火の原因をつくらない
- ・フレーカーを落とす
- ・ガスの元栓を閉める
- ・安否メモを残す
- ・伝言板・SNSで連絡する

### 火を使っていたら？

揺れが収まってから、火の始末をする  
出火したら、消火器を使う→逃げ口を背にすること！  
※炎が天井に達した場合、身の危険を感じたら、消化活動はやめて避難する

### 火災時の避難方法

ハンカチもしくは腕で口・鼻を覆い、できるだけ低い姿勢で、煙から逃れる  
煙で前が見えない場合は壁伝いに移動

### 避難時のポイント・注意点

人混みはパニックに注意  
地下では壁伝いに移動  
ベランダの隣戸との「隔て板」を蹴る、「避難ハッチ」のはしごを使って避難  
落下物から身を守る・ひび割れたビルは危険  
切れた電線には触らない  
川に津波が来たら、川の流れに対して直角方向へ逃げる！  
海辺の津波は近くの高台や津波避難場所へ、ない場合はより高い建物へ

# 地震発災時

まず落下物から身を守る

- ・机の下に入る
- ・クッション、雑誌などで頭を保護する
- ・家具から離れる
- ・ガラス面から離れる



## 発災時のNG行動



ガスに引火すると爆発するので  
火をつけない



火災の危険があるので  
ブレーカーを上げて通電させない



火災や爆発の危険があるので  
電気のスイッチには触らない



閉じ込められる危険があるので  
エレベーターは使わない

参考図書:東京都 東京防災

大地震が発生したら、まずするべきこと、落ち着いたらするべきこと、してはいけないことなど、たくさんあります。以上のことだけではなく、皆様のご家庭、職場に合わせた避難方法、連絡手段など日頃から話し合っていたいただければと思います。